

浜松における11月3日の天気について

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-08-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 伊藤, 通玄 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00006034

浜松における11月3日の天気について

伊藤通玄*

はじめに

11月3日の天気については既に多くの研究がなされ、特異日 (Singularity) であることが確かめられている。例えば高橋博士¹⁾は11月3日を日本の季節ごよみの中で“秋晴れ”と名付けられている。また伊藤龜雄氏²⁾は金沢の例につき、殿村清人氏³⁾は東京の例につき、それぞれ11月3日の晴天率はその前後の晴天率に比し、異常に高いことを指摘されている。

殿村氏によれば1886年(明治19年)~1950年(昭和25年)のこの日の晴天率は、11月3日前後の晴天率が40%前後にとどまるのに比し、実に62%の高さを示している。しかもこの傾向は1921年(大正10年)以降では更に高い70%を示している。

筆者は浜松の例について同様な試みを行なったので、その概要を報告する。

11月3日前後の天気

11月3日前後の浜松の天気を具体的に知るために、浜松測候所の気象観測月表原簿から、1886年以降本年までの10月30日~11月7日の平均雲量と降水量の記録を利用した。

この記録から晴天日数(快晴日数+晴日数)、雨天日数を統計し、あわせて晴天率、雨天率を算出した結果を第一表に示す。

第一表

11月3日前後の天気回数(1886~1958)

天気 \ 日	30	31	1	2	3	4	5	6	7
○	16	21	19	17	(27)	12	23	24	21
①	19	15	17	(26)	19	23	15	18	25
◎	8	(10)	9	4	7	7	3	6	6
●	30	27	28	26	20	31	(32)	25	21

* 静大教育学部浜松分校

天気日	30	31	1	2	3	4	5	6	7
○+⊙	35	36	36	43	46	35	38	42	46
晴天率	48%	49%	49%	59%	63%	48%	52%	58%	63%
曇天率	11%	14%	13%	5%	10%	10%	4%	8%	8%
雨天率	41%	37%	38%	36%	27%	42%	44%	34%	29%

表中、晴天率とは各暦日における73ヶ年の晴天日数を73で割った商であり、雨天率、曇天率も同様な操作で得られたもので百分率で示してある。

参考のために殿村氏による東京の例との比較を第二表に示す。

第二表

11月3日前後の晴天率の比較（東京＝浜松）

場所日	30	31	1	2	3	4	5	6	7
東京	38%	45%	35%	48%	62%	42%	40%	46%	55%
浜松	48	49	49	59	63	48	52	58	63

第二表で明らかなように（調査方法の差異を考慮する必要もあろうが）浜松におけるこの期間の晴天率はいずれも東京より高いが、その中でも11月3日が最高の63%を示している。

但し、11月7日にも同じ63%があらわれているので、東京の例ほど11月3日の特異性を強調できない。

殿村氏は更に東京における11月3日の晴天率が1921年以降特に増加していることを指摘されているので、この点について比較するために、浜松における11月3日前後の晴天率の変動を4期に分けて第三表に示す。

第三表

浜松における11月3日前後の晴天率の変動

期間日	30	31	1	2	3	4	5	6	7
1886~1900	54	54	33	67	67	47	40	67	80
1901~1920	50	55	40	45	50	30	45	55	75
1921~1940	45	35	55	65	80	60	60	55	45
1941~1958	44	57	67	61	56	56	61	56	56

第三表で明かなように11月3日の特異性を強調できるのは第三期のみであ

り、晴天率のピークはかなり移動することが分る。

参考までに殿村氏による東京の例と比較した結果を第四表に示す。

第 四 表

11月3日前後の晴天率の変動の比較(東京=浜松)

期間	場所	30	31	1	2	3	4	5	6	7
前期	東京	34	43	40	46	54	49	34	54	63
	浜松	51	54	37	54	57	37	43	60	77
後期	東京	40	47	30	50	70	33	47	37	47
	浜松	45	45	61	63	68	58	61	55	50

第四表中の前期は1886年～1920、後期は1921年以降を意味する。

この表でも、一般に東京に比し、浜松の晴天率の高いことを指摘できる。晴天率のピークはいずれも前期は11月7日、後期は11月3日にあり、この点では東京・浜松の地域的な差は少ないと云える。

む す び

1886年以降73年間の11月3日前後の天気を浜松の例について調べて見た結果、11月3日の晴天率は63%を示し、その前後に比較して確かに高いことが分った。しかし、これを4期に分けて調べて見ると11月3日の晴天率は必ずしも高くなく、晴天率のピークはかなり変動することが分った。また殿村氏の指摘された1921年前後の晴天率の変動を調べた結果、東京の例と大差ない傾向が認められた。

すなわち、1920年までの11月3日前後の晴天率の最高は11月7日の77%であり、1921年以降の最高は11月3日の68%であった。

さらに1921年以降を二期に分けた場合、11月3日の晴天の特異性の顕著なのは1921年～1940年だけである。

したがって、11月3日のsingularityは1921年以降、特に1921年～1940年では顕著であるが、全期間を通じた場合は顕著とは云い難い。

最後に資料の提供にあずかり、種々御教示いただいた佐々倉航三先生および浜松測候所に感謝の意を表し、ペンをおく。

- 1) 高橋浩一郎 1955: 動気候学 P. P. 62~63, 65~69
- 2) 伊藤龜雄 1954: 雨の降らない日、測候時報, 21 P. P. 292~295
- 3) 殿村清人 1956: 天気V 013 No. 6 P. P. 195~196